



だっこするよ

令和元年 5月

社会福祉法人茂原高師保育園

北区立赤羽台保育園

〒115 - 0053 北区赤羽台 1-4-11-105

TEL 3900-0189 FAX 3907-8690

園長 奥戸 昌子

憲法13条から「こどもの尊厳」を大切にす保育とは？

草燃え、花々が咲き誇り、薫風さわやかなこの季節に読みたくなる詩があります。高見順さんの有名な「われは草なり伸びんとす…ああ生きる日の美しき 生きる日の楽しさよ…われは草なり生きんとす 草の命を生きんとす 中公文庫より引用」太陽へ向かって一齐に伸びる雑草と何事にも一生懸命に生きるこどもたちの姿と重なり大好きな詩です。2階に季節の詩を掲示しています。ぜひ帰りに親子で声にして読んで下さいね。

5月、年長、年中組は、歩育=自分育てがスタートです。荒川土手の芝桜を眺め、八幡神社から新幹線に手を振り、清水坂公園で駆けっこ、自然観察公園のおたまじゃくし取り、赤羽の美しい自然の中で心と体の健康を育てています。

1階の乳児組では、大泣きしていた小さなお友だちに時折笑顔が見えるようになりました。大きな環境の変化を自分で乗り越えて頑張ろうとしています。泣いてもいいのです。泣いてスッキリしたら「さっ遊ぼう」とスコップを握っています。連休明けに少し戻る姿もありますが、もう山は越えましたよ。大人との信頼が生まれています。担任への安心が生まれるともう大丈夫、ママやパパもみんなで乗り越えました！！

先月「共生の未来を探る 憲法を学ぼう」上智大学江籐先生の講演会に参加しました。「憲法とは他者を慈しむための学問です」という初めの言葉に保育も自己表明が出来ない小さな生命の権利を守り慈しむこと、全く同じだと憲法が身近に感じられました。憲法13条「すべての国民は、個人として尊重される。生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利については公共の福祉に反しない限り、立法その他の国政の上で最大の尊重を必要とする。」「個」というものを先ず尊重しなければ「私」という「自分」を育てられない。それは多様な選択肢がこどもにあることだと。自己決定が大事ですね。「顔を見つめて下さい」30秒間2人組でただ顔を見つめ合いました。実際には、恥ずかしさもあり、30秒がとても長く感じられました。「顔」は強烈なメッセージで、地球上の76億人同じ顔は居ない。「個性」とは代わりがきかない唯一無二であること。没個性の一番は戦争である。人間は、科学の力を借りて有限を無限にしてきた。しかし科学はクローンなど生命の尊厳を脅かす問題も。有限だからこそ命も自然も輝きを増す。顔の「違い」を大切に共生の途を探る必要があるのではないか。人権は人間の叡智である。人間は差別や区別することで自己防衛してきたが、共生の未来を築くのは他者の意見を尊重する、与えること、受容すること、寛容であることを文化に…」と話されました。1階の玄関に「あなたの尊厳を守ります」と開園のときに貼りました。私は、こどもの尊厳とは自由であり、安心であり、自分が丸ごと愛される存在だよと自信をもつことだと思います。誰でもが生まれながらにもっている基本的人権を学び、「個=顔」を認め合い、一人ひとりのかけがえのない個性の尊重が守られているのか？嫌なときには「嫌だ」と言えているのか、こどもの心の声を聴き、心に寄り添える保育をしていきたいと思えます。今年も健やかな成長を願う「こどもの日」を迎えます。金子みすずの詩「みんな違ってみんないい」とこどもたちと高らかに読みたいものです。

くらげ公園跡地の建て替え、東洋大学新校舎建築など園両側での大規模工事が始まります。大型車両の通行も多くなります。警備の方も立ちますが、お子さんの安全を第一に登降園をお願い致します。また、車で送迎は近くのパーキングを御利用ください。路上駐車は禁止とさせていただきます。

写真は、おひさま組おたまじゃくし取りです。中央に逃げていくのを見て「田んぼに入ろう！」と言ったら嫌がる子が居なかったことに感激。みんな生きる意欲にあふれています。